

漂白される言葉 (ファイル No.11)

前回「青い、赤い、白い、黒い、というのに、緑い(みどりい)」といわないのは何故か」という問題をとりあげました。後で知ったのですが、若者言葉ではミドリイが使われるらしいのです。「バイト先の先輩がミドリイと言っていました」との証言。むろん、ふざけて言っているのでしょう。この先輩の言語感覚は鋭敏なのか鈍感なのか。ミドリイが定着するのではないと思われませんが、言葉は変化します。まったく逆の意味になってしまうこともあるのです。

上品とはいえない「やばい」という言葉があります。厄場が変化したと考えられ、江戸期には牢獄を意味したという説も危ない、という意味が定着したのは明治期でした。ところが現代の若者はヤバイを良い意味でも使います。「ヤバイ、惚れてしまいそうだ」は、危ないという意味が残っていますが「この服、ヤバイね」となると、意味がマインラスからプラスに変化しています。危ないくらい魅力的ということなのでしょう。

このような言葉の変化を「意味の漂白化」といいます。漂白される色(意味)に染まるのです。外国語にも、同じような漂白化があります。英語のナイスはラテン語から来た言葉で「愚かな」という意味でした。スペイン語のモンストロはモンスター、つまり怪物ですが、現在ではサッカーで突出した選手をモンストロと呼びます。日本でも時折、甲子園球児に怪物が現れます。

◎をかし、あはれ

ヤバイが漂白され良い意味に使われるのは仕方がないことで、悪いとはいいません。しかし、良いも悪いもなんでもヤバイと言う若者は、ポキヤブラリーが貧困であるとしかいかえません。

多くの意味を含む言葉は、昔からありました。例えば、枕草子では「をかし」が数百回も使われています。自然の様子、蹴鞠や着物も全て「をかし」。興味深い、今ならクール、いける、ということとです。枕草子は「をかし」のカタログなのです。また、源氏物語では「あはれ」が千回近く使われているそうです。こちらも「あはれ」のカタログです。むろん、清

少納言も紫式部もポキヤブラリーが貧困なのではなく、ひとつの言葉から世の中のモノやコトをとらえているのです。

◎たまゆら

漂白される言葉もあれば、意味が変わらず、そのまま残ってほしい言葉もあります。現代では使われない美しい言葉は、忘れられた言葉ともいえるのですが、忘れられたため美しいまま残っています。手垢がつかなかったのです。

玉響(たまゆら)とは、二つの玉がゆらぎ、ふれあって、音をたてる、そんなわずかな時間のことです。万葉集に作者不明の歌で「たまゆらに昨日(きのう)の夕(ゆづべ)見しものを今日の朝(あした)に恋ふべきものか」があります。

わずかな間、ちらつと見かけただけのあなたなのに、もう今朝は恋に身を焦がしている私です。現代文に訳すと、趣が損なわれます。歌はもちろん普通の文章でも、現代の口語文より昔の文語文のほうが良いように思われたいりません。

健康ライフ
100%
スロージョギング

スロージョギングでは、瞬発力を担当する速筋という筋肉を使わないように走ります。ランニングやジョギングでは速筋も使ってしまうのです。スロージョギングは理想的な有酸素運動です。呼吸をしながら酸素を消費し、脂肪を燃焼させます。有酸素運動を行うと血流がよくなるので、肩こり、冷え性に効果があります。新陳代謝がよくなり老廃物の排出もスムーズに。

週3回、1日15〜30分を目標にスロージョギングから始めましょう。疲れたら休んでいいのです。自宅周辺の散策で意外な発見があるかもしれません。自転車で行っていたのをスロージョギングに変えてみるという手も。シューズやウェアを揃え、形から入るのも一案。紫外線対策は忘れずに。



体のおいしい水
知床らうす
海洋深層水

INTERNATIONAL TASTE & QUALITY INSTITUTE
iIQi
2013
BRUSSELS

優秀味覚賞
受賞

宅配料込
1本 約11.3ℓ

1,470円 (税込)

サーバーメンテレンタル費
1050円 (税込) /月

※定期宅配で3本以上からの宅配となります。

★茄子とアスパラのゴマ和え★

①茄子のヘタをとり縦半分切る。それをまた、ひょうし切りに。
②ゆがかず、蒸し器で5分ほど蒸す(甘味が残って美味しい)。
③アスパラは普通に根元の皮をむき、ゆでる。
④スリコギですったゴマ、味だししょうゆ、薬味で味をつける。

さっぱりとした和えものです。

わが家の自慢料理
〈滋賀県栗東市 藤原幸子様〉

「わが家の自慢料理」にふろってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

